

市民が望む施策ベスト20

(総回答件数 2,100)

- ① 道路の舗装整備.....256件
- ② 公園・緑地の整備.....209
- ③ 老人福祉対策.....190
- ④ 下水道の整備.....181
- ⑤ 児童福祉対策.....154
- ⑥ 市街地の整備.....119
- ⑦ 心身障害者対策.....117
- ⑧ 学校教育の向上.....110
- ⑨ 環境衛生対策.....102
- ⑩ 農政対策.....85
- ⑪ 交通安全対策.....79
- ⑫ 物価対策.....57
- ⑬ 体育施設の整備.....55
- ⑭ 社会教育の充実.....51
- ⑮ 市営住宅の建設.....45
- ⑯ し尿・ごみ処理の充実.....43
- ⑰ 保健衛生対策.....39
- ⑱ 青少年対策.....38
- ⑲ 商店街の近代化.....30
- ⑳ 中小企業対策.....25

1,155人・ア

これからも住み

このことは、総合的な要素がいくつからかまってきた結果だと思えますが、市民は「人間優先の生活環境の整備」を強く望んでいることがうかがえます。しかしながら、市がこれらのすべてを整備するにしても問題が問題だけに、とても一朝一夕にはいえません。今後は、こ

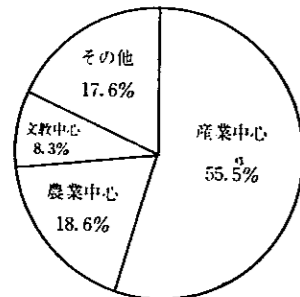


の中から最大公約数をどこにとるかが問題で、長期展望にたった積極的な事業の推進が望まれます。そのためには、皆さんとよく話し合い、相互理解を深めて行く必要があります。

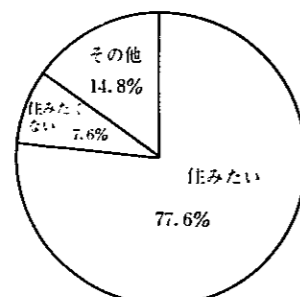
やはり道路整備がトツブ

では皆さんが、「どんな事業に力を入れてやってもらいたい」と望んでいるのでしょうか。二十五項目の中から五つづつ選んでもらいました。一番は道路の舗装整備、つづいて公園緑地の整備、老人福祉、下水道整備、児童福祉の順となっています。

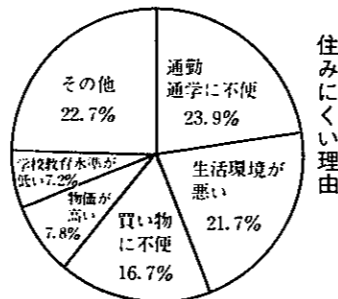
次に、これからどんなまちづくりを望むかということです。まちのタイプを単純に分別できるものではありませんが……。その結果は、産業都市を志向しているが五五・五〇と、とびぬけて多く、あと農業都市一八・六〇、文教都市八・三〇とつづきます。ここでは、働く場がほしいという気持が、産業都市を望んでいるという大きな流れを作っているようです。



白根市はこれからどんなタイプのまちをめざせばよいでしょうか



これからも白根市に住みたいですか



住みにくい理由

アンケート調査から

たい77%

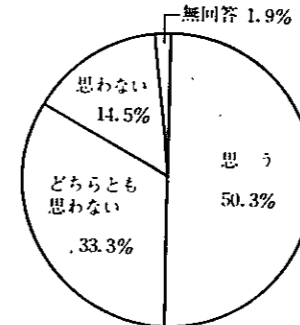
総合計画をはじめ、市政の具体的な施策に役立てるため実施した、市民意識調査の結果がまとまりました。「住めるまち」から「住みよいまち」へ、さらにすすんで「住みたくなるまち」へ。これは、市全体の課題であると同時に、私たち一人一人の課題でもあります。そのために、この調査がみんなで考えあう足がかりのひとつになれば……。今回は、「住みよさ」をテーマに、次号では「行政について」を取り上げる予定です。



でも 通勤・通学の便が…… 高まる行政への依存

強まる地元志向
まず、「このまちを住みよいつと思うかどうか」について——下のグラフでもわかるように「住みよいつ」が五〇・三〇、「住みにくい」が一四・五〇。なぜ「住みよいつ」のか「住みにくい」のか……その理由のおもなものは、次のとおりです。■住みよいつ ①生活環境が良い (二九%) ②隣り近所の人がよい (二二・二%)。■住みにくい ①通勤、通学に不便 (二三・九%) ②生活環境が悪い (二一・七%) といった結果になっています。次に、『今後も白根市に住みたいか』について——「住みたい」が七七・六%と「住みたくない」の七・六%を圧倒的に上回り、多くの人が地元志向のあることがうかがえます。参考までに、四十五年に実施した調査(千九十九人を対象)

多い施設の充実を望む声
これとは別に「日常生活に關連する施設の整備状況」を調べました。質問は、子どもの遊び場、保育所、地域集会所など十六項目そのすべてに「不十分に思っている」と答えている人が、「充分」と答えた人より多くなっています。



白根市を住みよいまちとお考えですか

アンケートのあらまし

調査年月 51年10月7~18日
調査対象 市内居住の満20歳以上の1,155人。無作為抽出。
回収数 420人(率=36.4%)
調査方法 郵送。